



会場風景



俳句の作者ご夫婦と会員 作品の前で

2017 玄煌社書展

と き:平成29年10月24日(火)~29日(日)

と ころ:名古屋市民ギャラリー栄

玄煌社書展はかつて経験したことのない大きな反響を頂き、感動の余韻を胸に残して無事に打ちあげることができました。今回はテーマを「平和の俳句を書く」と決め、中日新聞に掲載された入選句から各自一句を選んで書道と俳句とのコラボに挑戦しました。会期のほゞ一ヶ月前、自分の書く俳句の作者に一人ひとりが手紙を添えて「ぜひご覧下さい」と案内ハガキを送りましたところ、「必ず見に行きます」とのご返事を続々と頂きます驚きました。愈々書展が始まり、会期中おいで下さった俳句の作者は実に18組を数え、ご家族総出で遠くは四国の高松、

北陸の福井・金沢、また群馬・埼玉そして横浜・川崎などの遠方から、さらに名古屋近郊の作者も大勢おいで下さって会場は連日大賑わい。ご自分の句が書の素材に選ばれ、目の前に展示されていることに大感激、揮毫した会員とその想いを語り、一緒に写真に収まるなど本当に喜んで頂くことが出来ました。また、残念だけど名古屋まで行けないからせめて写真だけでも欲しいと手紙を下された方が15名もあり、俳句を提供して下さった作者の約8割の方が書展に関心を寄せて頂いたことは誠に想定外の萬々歳の社中展でした。

この書展には中日新聞社様に著作権の了解をとって頂くという大変なご苦勞を賜りました。また、ご多忙の中を大勢の先生方がご来場下さり、過分のご祝詞を頂きましたことを心から厚く御礼申しあげます。

(平成29年10月30日 小嶋 真海 記)